

## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

# ボーリング柱状図

調査名 真岡警察署新築工事地質調査 孔番 No. No. 2 地盤高 \_\_\_\_\_ m

調査場所 栃木県真岡市 (基準面 \_\_\_\_\_)

地形 \_\_\_\_\_ 摘要 \_\_\_\_\_

調査期間 昭和 年 月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 G L-1. 60m

調査担当者 \_\_\_\_\_

標地下水位 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			標準貫入試験								
					土色	相対稠度		番号	記号	採取深度 (m)	原位置 試験深度 (m)	打撃回数							
												0	10	20	30	40	50	60	70
	0.90	0.90	X	表土	黒灰		腐植物混る												
			○				礫径φ=20% ~30%位の混入多い。 最大礫径100% 内外も混る。	1	7.15.20	1.15	1.25	42							
			○					2	17.20.17	2.15	2.25	44							
			○					3	2.10.25	3.15	3.45	43							
			○					4	19.10.15	4.15	4.45	44							
	4.80	3.90	○	砂礫															
							有機物混入あり。 下部砂質を呈す。	5	1.2.3	5.15	5.45	6							
				粘土	黒褐			6	4.6.6	6.15	6.45	16							
	7.90	3.10						7	5.5.5	7.15	7.45	16							
			○				幾分粘土分含む。 木片腐植物混る。	8	2.1.8	8.15	8.45	11							
			○					9	2.4.6	9.15	9.45	12							
			○	細砂	黒灰色			10	1.2.1	10.15	10.45	4							
	10.50	2.60																	
				粘土	黒褐		腐植土質粘土	11	1.2.2	11.15	11.45	5							
	11.70	1.20																	
			○				礫径φ=10% ~20%位混入多い。 13m附近砂混入多く礫階段的に混入。	12	4.1.9/6	12.15	12.37	54							
			○					13	14.19.20	13.15	13.45	53							
			○					14	28.22/8	14.15	14.33	59							
			○					15		15.15	15.26	49							
	15.90	2.20					有機物混る。	16		16.15	16.45	1							
								17	7.2.3	17.15	17.25	7							
				砂質土	暗灰青灰色			18	7.2.4	18.15	18.45	8							
	18.65	2.75																	
			○				礫径10%~40% 位多い。 最大100%内外	19		19.15	19.19	42							
			○					20	39.11/4	20.15	20.29	50							





